

## 4号機 低圧第3給水加熱器 (A)ドレンレベルスイッチの部品破損について

平成 16 年 11 月 19 日

4号機 (平成 16 年 9 月 29 日から第 8 回定期点検中) において、低圧第 3 給水加熱器 (1) (A) の計測機器の点検を実施したところ、ドレンレベルスイッチ (2) 2 台において、水位検出のための部品 (フロート) が破損していることを確認しました。

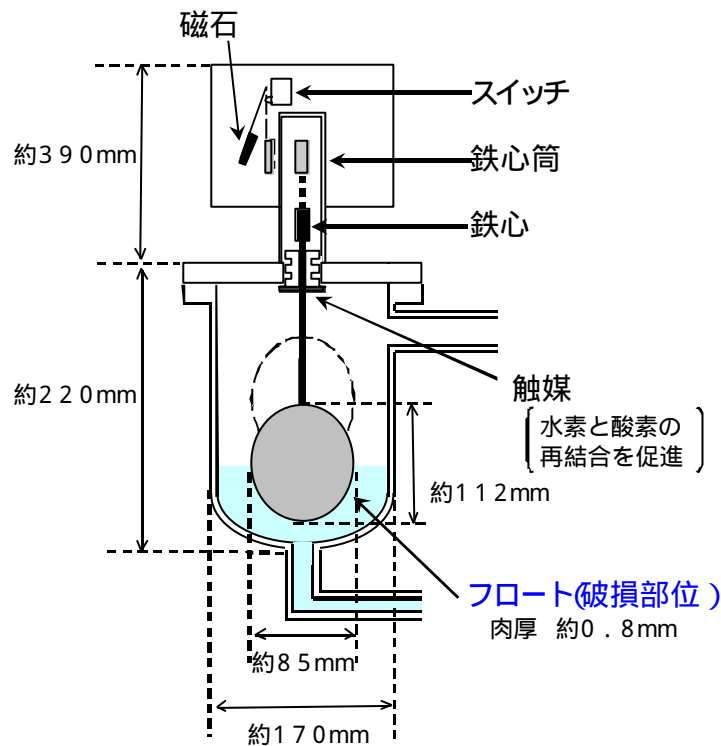
今後、類似箇所の点検を進めるとともに、破損の原因調査を実施してまいります。

なお、プラント運転中は、ドレンレベルは別の 2 つの計器により調整されており、問題ありません。

また、本事象は、原子炉の安全性に影響を及ぼすものではなく、外部への放射能の影響はありません。

- 1 熱効率を向上させるために、原子炉への給水を加熱する装置。加熱は低圧タービンから抽出した蒸気 (抽気) により行う。
- 2 ドレン (凝縮水) の量がある設定値以上になると、ドレンを排出する弁を開く等の電気信号を出すための装置で、タービン設備をドレンの影響から保護するためのものです。スイッチが入る仕組みは、ドレンの量が増えると、フロート (浮き) とフロートの先に取り付けられた鉄心が上昇し、磁石が引き付けられて動作する。このドレンレベルスイッチが、低圧給水加熱器 1 台につき、2 台設置されている。

以上



ドレンレベルスイッチ概略図

